

9月20日(土)・大会1日目 12:45~14:15 (C会場:17512教室) (90分)

●セッション【3】

「実践共同体研究の最前線:ミクロとマクロの視点」

- * 松尾睦(青山学院大学経営学部 教授)
- 松本雄一(関西学院大学商学部 教授)
- 相原基大(北海道大学大学院経済学研究院 准教授)

* セッション・リーダー

[概要]

知識創造の場である実践共同体は、チーム、部門、組織、組織間といったさまざまなレベルで研究されてきました。本セッションでは、実践共同体の概念を整理した上で、ミクロの視点から松尾と相原が、マクロの視点から松本が実証研究を報告します。ミクロの研究では、どのようなリーダーシップによってチームレベルの実践共同体が形成され、チーム外への知識共有行動が促進されるかについて量的な分析結果をプレゼンします。マクロの研究では、実践共同体同士がいかに関わり、共同体を発展させるかについての質的な分析結果をプレゼンします。それぞれのプレゼンの後には、皆さんとディスカッションする時間を設ける予定です。

[参加者へのメッセージ]

セッションの構成は、「実践共同体の概念整理」(10分)、「松尾・相原によるミクロ研究の報告」(20分)、「ディスカッション」(20分)、「松本によるマクロ研究の報告」(20分)、「ディスカッション」(20分)となっております。ディスカッション・タイムにおいては「実践共同体において知識創造をどのように進めていくべきか」「どのように実践共同体を構築すべきか」について参加者の方と議論したいと考えております。本テーマに関心のある方のご参加をお待ちしております。